

●発行日：2017年7月15日（土）

〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘3-19-3 TEL 06-4962-5876 FAX 06-4962-5877 e-mail info@gakurin.co.jp

発行：教材出版 学林舎

◎夏期休業のご案内

いつもお世話になっております。誠に勝手ながら、8月11日(金)～8月17日(木)まで、夏期休業とさせていただきます。8月18日(金)から通常営業とさせていただきます。

8月10日(木)午後3時以降のご注文に関しては、8月18日(金)以降発送とさせていただきます。

皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒ご容赦願います。(学林舎 北岡)



学習指導の行き先 先生と生徒－距離感を考える

現在、先生や親の指導・助言に素直に従わない子どもや、目標に対してどう行動すべきかを主体的に考えることができない子どもが増えています。これは、指導する側と指導を受ける側との間の距離感が問題であると考えられます。先生と生徒、親と子どもの距離感について、それぞれの現状を分析し、子どもが目標に対して主体的に考え、行動するように指導する「コーチング」ができる距離感を解説します。

□先生と生徒、親と子どもの距離感の現状と問題点

現在、先生と生徒の距離感における主な問題点は2つあります。1つは、先生が生徒に高圧的な態度をとることで、生徒に意見を言う隙を与えず、強引に従わせることです。一見、生徒からは不満も出ず、先生の言うことを素直に聞いているように思えますが、生徒の自発的な考えを引き出す指導ができていません。生徒が何か意見をもっていたとしても、高圧的な態度でおさえつければ、生徒は考えること自体を拒否し、ひたすら先生の言うことに従いさえすれば良いという姿勢になります。

もう1つは、先生が「生徒に好かれれば指導しやすくなる」と考え、生徒と友達のように仲良くすることです。この方法は、生徒が自分の意見を先生に伝えやすくなり、目標に対して主体的に考え、行動することはできるようになります。しかし、友達のような距離感になり、緊張感

がなくなると、先生が正しい方向に指導しようとしても、生徒は反抗的な態度をとりがちです。その結果、先生は十分な指導ができません。

この2つの問題点は、親と子どもの距離感にもあてはまります。高圧的な態度で子どもを指導する親は、昔に比べて減少しています。むしろ、親と子どもが友達のような距離感を築く家庭が増加しています。いわゆる「友達親子」と言われる関係です。子どもと仲良くしたい、嫌われたくないという思いが強いことから、親が子どもの言うことを何でも聞いてしまい、自分の子どもの言うことは常に正しいと思い込んでしまうのです。「モンスターペアレント」が現れるようになったのも、この親と子どもの距離感が原因の1つであると考えられています。

□先生と生徒、親と子どもの良い距離感

先生が生徒をうまく「コーチング」するには、先生と生徒が互いに対等であり、少し緊張感のある距離感が良いでしょう。先生が生徒一人一人の考えを尊重し、生徒が主体的に考え、行動する環境を整えれば、生徒の自分で考える力は伸びます。また、生徒も先生と対等な立場であり、先生は的確なアドバイスをしてくれる存在であると生徒が認識すれば、たとえ先生が自分の考えとはちがうアドバイスをしても、拒否せず、素直に受け止めるはずです。

親と子どもでは、少し緊張感のある距離感というのは難しいので、親は子どもを一人の人間として対等に扱ってあげましょう。そうすれば、子どもは「自分は認められている」と考え、親に対する信頼度が上がります。そのような関係になると、子どもは親が指導しても、「自分にアドバイスをしてくれている」と感じ、素直に聞いてくれるでしょう。(文/学林舎編集部)

科目学習の行き先 国語の世界

小中学生の夏休みの国語の宿題といえば、読書感想文と相場が決まっているものですが、あまりに書けないせいで夏休みの最後まで残してしまって、泣きべそをかいている小中学生も珍しくありません。

彼らの悩みは、結局「何をどんなふうに行けばいいのかよくわからない」ということに尽きます。このような悩みを持つ子どもは、何も感じなかったわけではなく、書く手順がわからなかったり、部分部分で様々な感想を抱いたからこそまとめきれなかったりすることが多いのではないのでしょうか。こういう子どもたちに、どのように指導すればよいのか考えてみましょう。

①「学んだこと」を考えさせる

読書感想文が教育の一環である以上、読書感想文を書くことを通じて、何らかの教育効果が上がっている必要があります。その教育効果とは、「読書を通じて成長できた」あるいは「勉強になった」という実感を持たせることです。

ただし、このときこう感じた、このときこう思った、ということだけを並べるだけではまとまりのないものになります。一冊の本から何を学んだのかを簡潔に示すことで、感想文の軸になる内容を決めることが重要です。この軸が大きくずれている場合は、修正してから書かせることが指導の上で有効です。

一回でよい感想文を書き上げ、そのまま提出できることはまれです。ここをもっと具体的に説明したほうがよいとか、ここを抽象的にまとめるとよくなるといった、「どう直せばよくなるか」という視点で添削指導するとよいでしょう。

②伝えたいことをまず示す

中には、課題図書のあるゆる箇所について、いくつも感想を書き連ねなければならないと思い込んでいる子どもがいます。たしかに、最後まで読み通したことを伝えるために、全体の要約を短くまとめることは必要ですが、

感想文の主題としては、一つの場面、一つの内容だけに絞ったほうが書きやすくなります。

①で考えた「学んだこと」を示してもよいですし、自分が一番印象に残った場面を示すことから始めてもよいでしょう。そこから、なぜそう思ったのか、自分ならどうしたか、といった展開のヒントを与えることで、より詳しく書くことができるはずです。

③自分の体験と比較させる

読書感想文は、課題図書の内容を自分の問題としてリアルにとらえてみるという態度で書くことが望まれます。

そのためには、本文中のある場面をとりあげて、自分の体験や意見と比較させます。実体験を思い浮かべるといことは、本文の内容をリアリティのあるものとしてとらえているという印象を与えるからです。もちろん、「成長した」ということを伝えなければなりませんので、「本の内容から教わるが多かった」といった内容を書くように指導しましょう。「自分ならそうしなかつたら」「これまでぜんぜん違つたふうを考えていた」という場面を選ぶのがコツです。

上記の内容を念頭に置いて、たとえば「走れメロス」の読書感想文を書くとする、その枠組みは『走れメロス』は、メロスが友情を貫き通す話だ。メロスが親友セリヌンティウスのもとに戻ってくる場面では、相手のことを少しでも疑ってしまったことを理由に、お互いに相手に自分を殴らせる。ぼくは、メロスが無事に帰ってきて親友の命を救ったのだからそれでよいのでないか、何も殴り合うことはないと思った。しかし、考えてみると、ぼくは友達にうそをついてしまうこともあるので、友達にはできるだけ誠実であろうとするメロスたちと比べて、恥ずかしいような気がした。これからは友達に少しでも誠実に向き合っていきたいと強く感じた。」といった内容になるでしょう。

(文/学林舎編集部)

夏休みの課題学習を考える 理科の自由研究

夏休みの宿題の中でも手こずることが多いのは、やはり自由研究ではないでしょうか。そこで、夏休みの自由研究におすすめの理科の実験を4つご紹介します。

□切り花の染色（小学校低学年向け）

食品に色をつけるための食紅を使うと、白い花の切り花を自分の好きな色に染めることができます。虹色の花をつくってみましょう。

○用意するもの

白い花の切り花、水、コップ、食紅、カッターナイフ（または包丁）

○実験の手順

- ① くきの下の部分にカッターナイフまたは包丁で縦に切れこみを入れる。
- ② 食紅をコップに入れ、水にとかして色水をつくる。
- ③ 切ったくきを広げ、先端をそれぞれ違う色水につける。

くきを色水につけてから数時間たつと、白い花びらが食紅の色に染まっていくようすが観察できます。花びらがどのように染まるか、スケッチや写真で記録をとりましょう。また、花の種類を変えたり、くきに入れる切れこみの数を変えたりして、色のつき方の違いを調べてみましょう。

【関連商品】道管染色液



植物の水の通り道「道管」を染めることができる特殊な染色液。食紅やインクに比べ、圧倒的に短時間で染め出しができるので、準備に手間がかかりません。

*学林舎WEBショップより購入可能です。

□カラーペンの色の分離（小学校低学年向け）

水性インクのカラーペンには、赤色や青色、黒色など、さまざまな色があります。これらの色は、どれも1色でできているように見えますが、実はいろいろな色が混ざってできています。実験を行うと、水性インクの色を分けることができます。

○用意するもの

水性インクのカラーペン、白いコーヒーフィルター（またはろ紙）、透明なコップ、わりばし、水、はさみ

○実験の手順

- ① コーヒーフィルター（またはろ紙）を、縦 10cm×横 2cm くらいの長方形の形にはさみで切る。
- ② 切ったコーヒーフィルターを縦にして下から 2cm くらいのところに、水性インクのカラーペンで線をひく。
- ③ 透明なコップに水を少しだけ入れ、切ったコーヒーフィルターの上の部分をわりばしではさんで、コーヒーフィルターの下部分が水につかるように、コップの中にとらして数分おく。このとき、カラーペンでひいた線は水につからないようにする。

コーヒーフィルターが水を吸うと、カラーペンでひいた1色の線がにじんで、いろいろな色に分かれるようすが観察できます。にじんだところにあらわれたいくつかの色が、そのインクをつくっている色です。

これは、インクの色によって水へのとけ方や紙へのつきやすさが違うことを利用しています。水がコーヒーフィルターにしみて上がっていくとき、それぞれの色のインクが分かれるのです。このように、紙を使ってもものを分ける方法を「ペーパークロマトグラフィー」といいます。

いろいろな色のカラーペンで実験して、どのような色に分かれるかを予想してみるといいでしょう。また、同じ色でも違うメーカーのカラーペンでは色の分かれ方に違いが出るかも試してみましょう。

○実験の注意

インクが顔料のものや油性インクの場合は、この実験方法では色を分けることができません。

□ミョウバンの結晶づくり(小学校高学年向け)

小学5年生では、水にとけるものの量について学習します。ミョウバンは、温度によって水にとける量が違ってきます。このことを利用して、ミョウバンの大きな粒(結晶)をつくってみましょう。

○用意するもの

ミョウバン、糸、コップ、お湯、発泡ポリスチレンの箱
※ミョウバンは薬局などで売っています。

○実験の手順

- ① コップに入れたお湯に、ミョウバンをとけ残りが出るまでとくす。
- ② ①に糸をしばらくたらし、糸にミョウバンの粒ができたらしり出す。
- ③ 大きくて形のよい粒を1粒残して、ほかの粒は指でつぶし、かわかす。
- ④ コップの中のミョウバンの水溶液をもう一度あたため、底のとけ残りをとくす。
- ⑤ ③のミョウバンの粒がついた糸をコップにふたたびたらし、コップを発泡ポリスチレンの箱に入れ、ゆっくりと冷やす。

1～2日後には、ピーナツくらいの大きさの結晶ができます。④～⑤の操作をくり返すことで、より大きな結晶をつくることができます。

ミョウバンの結晶のスケッチや写真をとって記録しましょう。また、食塩でも大きな結晶をつくるができるか、試してみましょう。

【関連商品】もののとけ方



水溶液の濃さと重さとの関係についての実験が確実にできます。

*セット内容

- 〈ミョウバン(粉)〉12gx2袋
- 〈ミョウバン(粒)〉22gx1袋
- 〈食塩(粉)〉20gx2袋
- 〈ほうさん〉10gx1袋

*学林舎WEBショップより購入可能です。

□ムラサキキャベツの実験(小学校高学年向け)

ムラサキキャベツでつくった液に身のまわりの液体を入れると、小学6年の理科で学習する酸性・中性・アルカリ性の性質によって、ムラサキキャベツの液でつくった色が変化します。身のまわりの液体の性質を調べてみましょう。

○用意するもの

ムラサキキャベツの葉(1～2枚)、水(100mL)、ミキサー(またはおろし金やすり鉢)、ザル(またはガーゼ)、透明なコップ(またはたまごの空きパックなど透明な容器)、調べたい身のまわりの液体(レモン汁、酢、石けん水、重曹水、炭酸水、食塩水など)、スポイト

○実験の手順

- ① ムラサキキャベツの葉1～2枚と水100mLをミキサーにかける。(ムラサキキャベツの葉をおろし金ですりおろすか、すり鉢などですりつぶしたものに水を加えてもよい。)
- ② ①をザルやガーゼでこして、液をとり出す。
- ③ 透明なコップやたまごの空きパックなどに、スポイトで②の液を分けて入れる。
- ④ ③に調べたい液体をスポイトなどで数滴加え、色の変化を観察する。

ムラサキキャベツにはアントシアンという紫色の物質がふくまれています。アントシアンは酸性、中性、アルカリ性によって、色が変化する性質があり、ムラサキキャベツでつくった液は、酸性では赤色に、中性では紫色に、アルカリ性では緑色～黄色に変化します。身のまわりの液体が何性を示すのかを予想しながら実験してみましょう。同じ赤色でも濃さに違いがあるかなど、気づいたことをまとめましょう。また、酸性やアルカリ性の性質を利用しているものにはどんなものがあるか、インターネットなどで調べてみましょう。

○実験の注意

実験で使った液は口に入れないようにしましょう。また、トイレ用の洗剤やお風呂掃除用の洗剤など、「まぜるな危険」と書かれている液体を混ぜると有毒なガスが発生します。実験で使った液どうしを混ぜないようにしましょう。

(文/学林舎編集部)

クロスロード Crossroad

第71回 文／吉田 良治

● アメリカの大学を目指しはじめた日本の高校生アスリート

昨年、高校生陸上選手だったサニブラウン・ハキームが、アメリカのフロリダ大学に進学することが発表されました。怪我のためリオオリンピックに参加できず、その間、他の日本人短距離選手たちはリオオリンピックで100m×4リレーで銀メダルを獲得。

サニブラウンは、完全に主役の座から遠ざかっていました。サニブラウンはケガの回復後、海外での調整を経て、今年の陸上日本選手権では100mと200mの2種目に出場し、圧倒的なスピードでリオオリンピック銀メダルメンバー全てを撃破、二冠を達成しました。そしていよいよ秋にはフロリダ大学に入学します。

今月7月7日読売新聞朝刊に、『米留学・文武両道狙い』という特集記事が掲載されました。記事の内容はサニブラウンのフロリダ大学留学が中心ですが、ほかにもバスケットボールで渡辺雄太（ジョージワシントン大学）、八村塁（ゴンザガ大学）、アメリカンフットボールの庄島辰堯（UCLA）、サッカーでは既に大学を卒業し、アメリカのプロリーグで活躍している遠藤翼（メリーランド大学）と、様々な競技の日本人選手の紹介がありました。さらにサニブラウン同様この秋にアメリカへ留学予定の女子アイスホッケー U-18 日本代表の佐野月咲の紹介もありました。彼女が進学するのはハーバード大学です。ハーバードと聞くと世界トップクラスの難関大学で、スポーツというイメージは薄い印象ですが、オリンピック選手はもちろんプロアスリートも数多く輩出しています。そしてハーバード大学女子アイスホッケーからは、ソチオリンピックで銀メダルを獲得したアメリカ代表に4名送り出すなど、大学女子アイスホッケーではトップレベルにあります。

アメリカの大学スポーツは原則学業優先で、学業成績が基準を満たさないとスポーツに参加できません。そのため、まず学業でその基準を満たすことが最優先となります。ここで読売新聞の記事、その肝ともいえる部分を紹介しましょう。サニブラウンが進学するフロリダ大学の先輩でもある、プロゴルファーの東尾理子の経験談です。彼女は初年度最初の学期で学業成績の基準を満たすことができず、練習に参加できなかった苦い経験を告白しています。つまりアメリカの大学スポーツに参加するということは、まず学業で優秀でなければスポーツ活動には一切かかわれないということです。日本ではまだまだ学業への意識が薄い分、スポーツ偏重という風土が根付いており、学業でスポーツ参加が制限されることに違和感を持たれるかもしれません。アメリカではこれがスタンダードの考えです。

東尾理子の経験談でも、勉強が主、ゴルフが息抜き、という感覚だったそうです。それでもスポーツで優秀な成績を収め、大学の殿堂入りまで果たしているのですから、スポーツでいい成績を収めるために、学業を疎かにするという事は当てはまりません。“学業優秀で自信”という東尾理子の言葉がすべてを物語っています。

この記事を担当された記者は、昨年末からアメリカの大学スポーツについて取材をいただき、大学の授業も聴講に来ていただきました。そこで私がお伝えしたことは、まずは経験した者の話を取り上げてはどうか、ということで、今回の記事でフロリダ大学留学経験者の東尾理子の経験談の掲載となりました。(つづく)

吉田良治さん Blog

<http://ameblo.jp/outside-the-box/>